

嘘のコミュニケーション

中 村 平 治

発話また陳述 (utterance or statement) には様々な機能があるが、その中の一つに「嘘 (lie)」がある。辞書の定義によると、「人を騙すために事実でないことを言う」という機能である。英語でも "an untrue statement purposely made to deceive" となっており、日英語でほぼ共通するようである。騙すという機能は、一見、負の含意が強いように思われる。直感的にそうだとすれば、コミュニケーションの運営として避ける方が望ましい。話し合いは円滑化に向かうのであれば、当表現の技巧はそれなりに推奨されねばならないが、逆方向に向かうのであれば、廃棄するのが好ましいことだからである。話し合いの円滑化に水をさすため摘出するとなると、具体的に何をそうするのかの特定化が求められよう。嘘という悪性の膿を取り出し、排出すればいいのである。この清掃は肯定されるとしても、嘘のどの部分を対象にしたらいいのであろうか。一口に「嘘」といっても多面体で、中には善玉も交じっている。そういうのは生かしておかねばならない。捨てるのは悪玉の嘘だけである。これを選び分けるとなると、嘘とはどういうものか、から議論を始めなければならない。

1 嘘 概 観

「騙す」「偽り」「空言」などと言えば、直感的に悪意を連想するが、そうでない面も、つまり善意に裏打ちされる面もあることを知るべしであろう。虚言

には対話の円滑化に際して「油」になる面も、それを阻む「砂」の面も控えているのである。

善意の油と悪意の砂が認められると、特定化が求められよう。前者は推進の対象に祭り上げられるし、後者は廃棄処分 of 塵となるからである。どういった嘘が好意の発露に、また悪意の見下げになるのか。問題の特定化のため、嘘の全体像を覗いてみよう。

Allan & Barbara によると、lie は 4 つのタイプに分けられると言う。White Lie, Beneficial Lie, Malicious Lie, Deceptive Lie で、前 2 つがこの善意に、後 2 つが悪意に相当する。罪のない嘘も、相手のためになる嘘も、然るべき目的を達成するための最善の表現手段であるから、肯定されよう。日本語の「嘘も方便」に当てはまり、歓迎されよう。3 つめの、悪意のある嘘と欺くための嘘は文字通り、言下に否定される。それぞれの中身を覗くため、少し事例を添えておこう。

(1) たわいのない嘘は、共存共栄を豊かに転ばすのに極めて有効で、実害がなければ、たとえ事実から離れた呼びかけであろうと、受け手に心地よく吸収されるであろう。嘘と分かってはいても歓迎されるであろう。そうであれば、事実で相手の気持ちを傷つけるより、多少の誤魔化しで心地よくしてあげる方がどれだけ社交が明るくなるかしのれない。例えば、次の呼びかけをするとき、(a) は真実で (b) は虚言としよう。聞き手にとってどちらが受け入れやすいかは断るまでもないであろう。

(a) You look awful.

(b) You look great.

(b) に類するほめ言葉 (compliment) は日本語でも社交の円滑化を促進する表現技法として盛んに取り入れられている。英語社会は一見、真実傾斜の文

化であるように見えるが、white lie は潤滑油として好んで採用されている。Brown & Levinson によっても an output of positive politeness desire to avoid disagreement として位置づけられている。

(2) 相手に有益になる嘘は、上の相手を心地よくする嘘をもっと実のある形にしたものである。利益の概念を明示化したもので、相手のためになることを強く意図したものである。この意図は上の社交辞令の場合必ずしも明確に表明されないが、この場合明示される。

例えば、deathbed にある不治の患者に向かって呼びかける医者嘘、すなわち fake medication または placebo (気休め薬) がそうである。この種の処方箋は、内面的に嘘であることが明白でも、患者を元気づける (lift their spirits) という利益をもたらすことは確かである。(2) の虚言は (1) に比べ重みがあり、必然性も高く、ほぼ普遍的にどの言語にも認められよう。日本語でも同じである。ただ、最近では、気休めの呼びかけに待ったがかけられる傾向は否めない。この功罪については別議論にしたいが、要するにここでは、肯定される beneficial lie が生かされているということが承認されればいいことにする。

(3) 悪意の嘘は、自分の利益を得るため相手を蹴落とす偽りの発言である。例えば、ライバル会社を陥れるため嘘の情報を意図的に流すのである。意図が不純であるだけに、悪意が読み取れる。この種の情報また虚言は受け手に不利益をもたらすだけに、早めの防御策が求められる。悪意の虚言 (rumour-mongering) は普遍的に指弾される発話行為である。

(4) 欺きの嘘も、悪意に根差しているが、情報の処理の仕方が異なる。この場合、真実を隠蔽 (concealment) したり、歪曲 (falsification) したりするからである。つまり、真実を故意に教えなかったり、また逆に、誤っていると告げたりするのである。例えば、仲良しの女友達が或る男性と結婚を考えているとしよう。しかし私はその男の正体 (womaniser であること) を知って

いる。このとき、心情的に事実を教えてやるのが友達としての在り方であろうが、魔がさして、然るべき情報を流さない場合である。これも一種の悪意の虚言行為といえよう。逆に、その結婚相手が立派な紳士であるのに、いい加減な男だとくさすのも、偽りの流言だと言えよう。

以上、大急ぎで嘘の概観を覗いたが、ここで問題点を設定し、論考の先触れとしよう。

2 問 題 点

先ず指摘されるのは、更なる事例の追加であろう。事例が十分に用意されない限り、嘘の実態の全体像を描くのは無理である。事例については論考の折に加えることにする。嘘を追求するには、嘘とは何かが掴めていなければならないが、これは事例を出来るだけ多めに挙げることで詰めることにする。嘘とは何を指すのかを定義するのは、論考の枠組み設定でもあり、これが明示されないと、事例さえ集められないのであるが、今の段階ではおおよそのイメージで出発することにする。何らかの表現が話し手および聞き手によって「嘘」と認定されると、そうだと決めることにする。嘘に近い表現に婉曲が挙げられよう。例えば、窓側にたまたま居合わせている人に対する頼み事の表現は幾通りもある。本心は *Open the window.* でも実際的には他の言い方をするものである。その一つに *It's hot.* が考えられよう。この別の言い方は嘘であろうか、それとも婉曲であろうか。この場合は後者と見なし、枠外とする。

事例が整ったと想定し、次の問題に移ろう。嘘の発言は善意と悪意に大別されると1節で言及したが、この分け方も次に問題になる。問題の虚言を、発言者は善意から出ていると思い込んでいても、聞き手は悪意がこもっていると聞き直ることが考えられるからである。前の節で、嘘には肯定ないしは歓迎されるものと、否定ないしは指弾されるものがある旨説いたが、この選別がうま

く行かないことになり、問題点として残る。

嘘を善玉と悪玉に、拾ったり捨てたりするため選り分け、特定化するのはいいとして、この作業には他にもいろんな疑問点が錯綜する。これらも逐一晴らさねばならない。思いつくまま並べるが、第一に、なぜ嘘をつくのか、またつかねばならないのか。嘘は意図性が高いだけに、然るべき理由が底流していると考えられる。

次に嘘をつくことにどの程度の効用があるのかも疑問になる。効用はプラス志向にある程に、またマイナス志向にある程に評価されるからである。一口に社交のための嘘といっても、表現のありようは幾通りにも想定される。事実に近い嘘が有効なのか、それとも遠い嘘が効き目があるのかという問題である。

嘘は、受け手が聞いたり、見たりすると、その形式的な、また内容的な特徴が問題になる。いわゆる嘘見破りの手口である。嘘発見の手がかりは何かと言いつつ換えてもいい。例えば、発せられた嘘を防御しなければならないとすると、なにはさておき、嘘であることを見抜くことが前提になる。警察で利用されている嘘発見機はいまだ完成の域にあるとは言えないが、拝借するのに参考にはなるであろう。発見の一形式化に、例えば *honestly* の余計な添加がある。単なる *I love you.* と飾った *I honestly love you.* を比べて見た場合、後者の方が嘘っぽい表現化に聞き取れるであろう。と解釈すると問題の副詞は告白が嘘であることの証ということになる。

嘘見破りの手がかりは、表現の形式からだけでなく、発話者の人となりからも得られよう。どういう人が嘘をつきやすいのかを見定めるのである。いかなる性格また体質の人が嘘をつきやすいのか。あるいは男と女、また大人と子供はどちらが嘘をつきやすいのか。最近、売り出し中の書物の題目 *Why men lie, and women cry* によると、男の方ということになるが、果たして実際にそうであろうか。

嘘を巡る問題点は他にいくらでも挙げられようが、ここで解明に移ろう。

3 善玉の嘘

事例を加えるが、悪意に裏づけられる嘘の例に社交辞令がある。本当に思った通りのことをありのまま相手に伝えてもいいが、しかしそうすると、相手の感情を傷つけるため、これを回避しようとして、逆の感想を述べるのである。例えば、辛辣な次の (a) でなく、歪曲された (b) を口頭に乗せるのである。

(a) Hi, Adam. Why don't you see a dermatologist about all those ugly pimples on your face? You're a lousy dresser. And why don't you trim your nose hair?

(b) Hi, Adam, you handsome hunk.

上の (b) は事実から離れており、その分だけ嘘になるが、しかし虚言であっても、双方共にそのことを認めても、より心地よい印象を与えるであろう。お互いに社交を丸く納める潤滑油になるであろう。(b) の選択はそれなりに効用があると言える。一方、(a) は真っ正直な表現化でも、聞き手にしてみれば、一種の攻撃ないしは暴言になるであろう。これを避けるためにも、嘘は高く評価されねばならない。

同種の嘘は上のほめ言葉に関連して、行動面にも現われ、双方の社交を潤すのに役立つであろう。例えば、若い男女が互いに情愛を盛り上げようと念じているとしよう。この依願成就のためであれば、多少虚構の行動にでても許されるであろう。このときの行動は、嘘であるがゆえに効き目があると言えよう。例えば、両人がデートに出陣しようとするとき、事実隠しが好んで行われる。顔の取り繕いがそうである。本来の真の顔を相手に見せるのであれば、お化粧は嘘の飾り付けになるが、よく見せようとして、盛んに嘘の塗り付けがなされる。情愛を密にするため、顔だけでなく、服装にも気を配る。胸が露出するド

レスを選んだり、ハイヒールを履いたり、艶かしい香水を耳たぶにスプレーしたり工作するのも一種の真実隠し、嘘の行動だと言えよう。

一方、デートの行き先として我が部屋を選んだ男の方も取り繕うのに気を配る。普段の雰囲気(事実)とは離れた演出を試みる。照明を暗くし、romantic candlelit dinner を設定し、静かなムード・ミュージックを流したりする。

こういった男女の演出ないしは嘘ごとは情愛を高揚させるのに有効であろう。二人の愛の高まりは身辺の人達に暖かくみまられると、いっそう歓迎されるし、善玉の嘘として肯定されるであろう。

善意の嘘、つまり当人の利益になるための歪んだ発言がいっそう明確に展開する例に、戦時中農民が Nazis から Are you keeping any Jews in your house? と問い詰められて、死をかくごで、No と嘘を突き通したという逸話に加えられよう。

また、車の事故で辛くも救出された子供を元気づけようとして、本当は両親は死んでしまったのに、Your mother and father are OK. と嘘をついたというよくある話も一般の人達に好意をもって受け入れられるであろう。このときもし本当のことをいったら子供は意気消沈し、生きる気力を失い、両親の後を追ったかもしれないと同情されるであろう。この点で善玉の嘘に昇格する。

4 悪玉の嘘

3節で挙げた事例は、嘘が当人にも回りの人達にも有利に働き好意をもって歓迎されるので、高く評価されるケースであるが、そうでなく、誰かに不利益をまた不快感をもたらすようであれば、その人によって逆の判定がくだされよう。当該の虚言が否定される。

悪意の事例に、文字通り嘘、偽りの虚言がある。この背後に、虚言者の利益が、そして聞き手にしてみれば裏切られたという意識が明確になるだけに、後

者にとって悪意に満ちた発言となるであろう。この種の嘘は受け手に裏切られたという感覚が生じない限り、ことなきを得るが、これが表面化すると、不利益・不快感となり断固として否定される虚言となる。

該当の例を挙げよう。離婚した男が新しい女と出会い、愛を告白したとしよう。女もそれに応じて、気を許そうとするが、何かふっきれない。女の愛も男に傾きかけているが、何か引っかかりが意識される。そういう折、女がたまたま男の財布のなかに前妻の写真を発見する。女にしてみれば、男に騙されたことになる。未練などないと新しい女に断言していたのに、腹の中では後生大事に温存していたことになるからである。この仕打ちは女にしてみれば男から騙されたも同然になるであろう。心とは裏腹の許されざる行動を示されたことになるであろう。この点で、指弾される悪意の嘘を露呈したことになる。

同種の虚言は男の女に対する常習と位置づけていいであろう。愛人には折をみて離婚するからと、本妻には愛する女は君だけだと断言するのである。この通りである間はことなきをえるが、心にもないことだと判明すれば、当該の女にしてみれば許し難い嘘っぱちになる。この種の嘘は、女が敏感にできているだけに、すぐに見破られやすい。逆の現象も起こりうるが、男は鈍感にできているため、発見されにくい、つまり嘘に展開しにくい。

裏切りの規模は小さいが、仮病も見破られない間はことなきをえるが、暴露すると、受け手に怒りを植えつける。例えば、約束のデートを破った女また男に対する仮病の言い訳がそうである。本当は元気でピンピンしていたのに、肺炎で熱が出てと嘘をつく場合である。これもその後真実が判明すると、相手の肯定しがたい怒りを誘うであろう。

上とはやや違った例を加えるが、商売上の虚言もある。例えば、自分の車を中古車屋に売り渡すとき、本当は油漏れがするのに、この点を隠し、車の調子は別に悪くはないのですが、格好がダサイので・・・と言い訳をする場合である。また自分の家を売るとき、本当は隣に精神異常者が住んでいて、これに耐

えられないのが理由であるが、家の仲介者には、実は親の実家が空き家になりましてねと、うそぶく場合である。いずれの場合も、本当の理由がばれない間はいいが、その後判明すると、許し難い虚言と烙印が押されよう。

その他、受け手にとって損害また不利益になる事例に、履歴書に澄まし顔で記入される嘘・偽りがある。例えば、大学に聴講に行っただけなのに、まことしやかに、卒業としたためたり、英語がうまく話せないのに、英語に堪能と誇示したりする場合である。こういった記述は発信者してみれば精一杯の背伸びで悪意は無いのであろうが、受け手にしてみれば、採用条件が無視されたも同然になる。手前の要望が踏みにじられたことなり、悪意の虚言になる。

この最たる例が、試験のカンニングである。答案はありのままの評点が付けられるのを本筋とする。虚飾は許されないはずである。受験者の評価は答案の率直な反映であってしかるべきである。この鉄則にあえて矢を射すのが、cheating である。結果的に真実と偽りが判明すると、大変な罪作りになる。停学に展開するかもしれない。それほどまでに、身から出た錆は悪意のあるものになる。カンニングは見破られない間はことなきを得るかもしれないが、発信者にとって一生良心の呵責に苛まれるであろう。

同罪の例に、商店での商品の picking、子供の親に対する偽りなどが加えられよう。この種の見え透いた嘘が最近顕著になりつつあるという。この現象は日常的になると、大変な悪事に成長する。是が非でもストップをかけたいところである。

5 嘘の峻別

嘘に善玉と悪玉の2通りがあることをこれまでに覗いてきた。いずれにしる特定化するに値する。採用と廃棄の運用の違いはあるものの、選別の対象としてどちらも卓上に載せておかねばならないからである。載せるからには、嘘の

特徴をキャッチしておく必要がある。嘘と嘘でないものを峻別しておかねばならない。

そこで、こういった形式の、また内容のものが嘘になるであろうかに駒が進められる。数ある発話また陳述のなかのこういった特徴のものが嘘になるであろうか。

嘘見分けの入り口として、先ず、嘘は男と女のどちらによって頻繁に口頭に乗せられるであろうか。これが分かると、心理的に注意しやすくなる。大雑把であるが、分けやすくなる。

Allan & Barbara によると、女が嘘をつくのは to make you feel good で、男がそうするのは to make himself look good であると言う。ここでの分け方に沿うと、女が善玉の、男が悪玉の虚言を吐きやすいということであろうか。これには、もちろん、例外が被せられるであろうが、大方承認すると、嘘見分けの起点が定めやすくなる。女から社交辞令が頻繁に聞かされると、嘘の、一方、男から自画自賛が飛び出すと、嘘の匂いがすることになる。女の嘘は実害がないと潤滑油になるので推進されるが、男の嘘は事実が暴露すると、裏切り行為に陥るので廃棄の対象にされるという目安がつけられる。

嘘であることを見抜く目印は性差の他に、年齢もあると両氏は指摘している。若者が他人を欺きやすいという。調査によると、lie, cheat, steal の経験者は、15 歳から 30 歳の間の若者が最も多かったということで、他に履歴書や就職の面接でも嘘が日常化しており、試験のとき不正を働いた者が高校生で 61%、大学生で 32% もいたという。このような調査報告を見せつけられると、純真であるべきはずの若者が信頼できなくなる。この傾きも嘘見破りの手だてになるであろう。

その他、虚言可能性の red lights として、「しぐさ」とか「声の調子」が手がかりになりうる。嘘をつくとき、悪事の意識が高まるためどうしても emotions が揺さぶられやすい。するとこの高まりが表面化して、見破られの切っ

掛けになりやすくなる。もちろん実際には、図式通りに事が運ぶとは限らないが、一応の目安にはなりうるであろう。

両氏の言及によると、この種の見分け方は FBI の捜査官が訓練を受けているということで、例えば、Clinton 前大統領は、Monica Lewinsky の件に移ったとき、a split-second frowning gesture を露呈したそうである。同種の、嘘に根差す表情の変化は slow motion camera に捕獲されやすいが、女性特有の super-awareness によっても簡単にキャッチされやすい。男の不倫行が、どんなに取り繕ってもバレやすいのは、奥さんの繊細なアンテナによると言えるであろう。女の、この鋭い「感覚」は赤ん坊の種々様々な表情を、訴えを、感情を正確に読み取れるほどに洗練されている程であるから、鈍感な夫の腹具合を見分けるのはいとも簡単である。

ここで両氏が挙げている男のつきやすい嘘の例を引用しよう。次の (a) が虚言なのは (b) と等価であることから自動的に判明するであろう。

(a) I'm not drunk.

(b) I'm narg drmgthph.

つまり、「酔ってなんかないぞ」と言い張らねばならないのは、その実、酔っ払っているからである。この種の酔狂は誰にでも容易に見破られるであろう。

次の嘘も理屈に合わないので、見破りやすいであろう。

I definitely didn't have sex with that woman.

つまり、上とは逆の事（真実）を告白したとしても、利するものは何もないからである。

男はしばしば女友達を突き放したような、次の (a) とか (b) のような評言をする。しかし、実際には虚言で、本心は大切に思っている。その証拠に、その女を引き合わせようとしない。

(a) We're just friends.

(b) She just needs a friend.

その他、嘘峻別 (clues to unmasking the liar) の手がかりをいくつか加えよう。

先ず、嘘つきは1人称を避けようとする。自分のことを棚上げにしようとする心理が働くからである。この手がかりから、例えば、会合の約束をすっぱかしたい訳として、次の (a) より (b) の方が嘘である率が高い。

(a) My car broke down and I couldn't call you, because the battery on my mobile phone was flat.

(b) The car broke down and the mobile had a flat battery.

上と同じ見方から、当該の人物名を避けようとするのも、嘘である率が高い。嘘つきは次の (a) より (b) を選びやすい。

(a) I did not have sexual relations with Monica.

(b) I did not have sexual relations with that woman.

それから、一日の出来事を振り返って陳述するとき、順序良く淀みなく完璧に展開する人と、順不同にためらいがちに思いだす人がいるが、前者の言及が嘘である率が高い。次の中国の諺が教える通りである——Beware the

flowless performance.

感情に反映される言葉遣いも、見分ける切っ掛けになりやすい。嘘が悪事と結託しているだけにストレスとなり、声の調子が高まり (high pitched になり) やすい。例えば、奥さんから Charlotte という女性と昨晚夕食を共にしたでしょうと、詰問されて、本当はその通りであるが、そうだと自白すると、我身の破滅になるので、これを避けようとして、否定 (嘘) の返答をするとき、声がカナリアみたいに甲高く (chirping) になりやすい。奥さんは、女の敏感さでその否定が嘘であることを簡単に見抜くであろう。

音調以外に、とってつけられたように選ばれる words の実態も見分けるのに有力な鍵になる。何かを主張しようと息巻くほどに、言葉を羅列する程に、実態とは逆にそれが嘘であることを証明する場合がそうである。例えば、honestly, sincerely, frankly などの強意語がくせものである。真実はその通りでないから、隠そうとして、とってつけられているのだと疑われよう。店員がお客に不自然に呼びかける次の (a) はその実 (b) と等価だと疑われよう。

(a) Frankly, this is the best offer I can give you.

(b) It's not the best offer but maybe you'll believe it.

その他の強意語の例に Believe me, when I say it. という迫り方もある。この表現も強く説き伏せようと迫るほどに、逆に、嘘の皮を剥ぐのと同じになるであろう。I'm not kidding. とか Would I lie to you? など、嘘であることの張り付けになりやすい。

関連して、OK, Right, Only, Just といった語彙も嘘発見の糸口になりやすい。例えば、次のような安請け合いをする人にかぎって、実際には嘘で、一時間も待たせがちである。この観点から、(a) より (b) を選ぶ人の方が信頼される率が高いであろう。

(a) I'll only take five minutes of your time.

(b) I'll take five minutes of your time.

同じ見方から、次の (a) も (b) に比べ、嘘の気配 (mask the timid lover's need) が強い。

(a) I just wanted to tell you I love you.

(b) I love you.

縮小語の only とか just を使う背景には、使用者の自信の無さが感じられる訳で、これが嘘の匂いを起こさせるのである。

同類の背景は、次の (a) にも察せられ、(b) と等価的であるという観点から、否定 (嘘) 的な匂いがするであろう。

(a) I'll try., or I'll do my best.

(b) I have doubts about my ability to do it.

その他類する例を並べるが、ただここで注意したいのは、嘘ごとであると決めつけるわけ (guarantee of dishonesty) ではないということである。文脈的にその傾きに走り易いというだけである。

Trust me.

Truthfully speaking.

Why should I lie?

To be totally frank with you.

神を引き合いにだして追及をかわそうとするのも、虚言の匂いがする。真実ならその必要がないからである。

Honest to God.

I swear to God.

自身を神の他に、何か大きな組織に組み入れようとする背伸びにも、嘘の匂いがする。真実を語ろうとする人であるなら、組織に証明してもらう必要などないからである。

I'm a loyal employee.

I'm a member of group.

以上の強調語また文は、本当らしく見せようとして、逆に、嘘であることの尻尾を出すも同然とみてよいであろう。日本語でも「天地神明に誓って」と豪語する程に、その実、裏腹であることを露呈した政治家が何人もいた。この種の空断言は普遍性があるようだ。

その他、嘘は言葉の特徴以外に、non-verbal の特徴によっても見破られやすい。決定的な決め手になるとは言えないが、次に並べる特徴が認められるとき、発言が嘘になりやすい。

- (a) respiration, blood volume, pulse rate などの生理的な変化。
- (b) vocal cords に流れ込む血液の減少。
- (c) squeakier voice, 早い喋り方、声高、詰まり声 (ums, ahs, ers など)
- (d) body language—手を顔に持っていくしぐさ (eye and nose rubbing, ear pulling, collar tugging など)

- (e) 相手の目を見つめて話そうとしない、ただし、この習慣がない日本人には当てはまらない。まばたきの増加。
- (f) 大げさな友好表現や笑い方。

6 嘘の効用

これまで嘘の負の面に注意を向けてきた。ここで正の面、つまり効用に光を当ててみよう。嘘は、時に、表現の一形態として有効な機能を果たす。嘘であるが故に、有効な表現になりうる。このことを、私がたまたま本箱から取り出して読んでいる井上靖の小説「夢見る沼」を通して実証してみよう。

さて、作家は作文また表現に際して、それがいかに有効に現れるのか、読者に印象強く受け入れられるのかに神経をとがらすものである。私は当小説のなかで、愛情を表現するにあたり嘘が有効に活用されていることに気づいた。女が嘘をついている場面に接して、直感的に、ああこの女は男に惚れているなど感じ入ると同時にうまい表現の仕方だと感心した。嘘が効果的に使用されていると思った。娘が親に初めて嘘をつくのは男ができたときだとよくいわれるが、これと同じ心の動きだと感じ入った。この感じを具現化しよう。

主人公「伊津子」には親友の「節子」がおり、それぞれ婚約が予定されている男友達（鳥飼と八代）がついている。4人の人間関係がこの通り進行すれば事無きを得るのであるが、交差現象が起きるからややこしくなり、小説が誕生する。伊津子が親友の八代大三郎を好きになってしまったのである。

ここで焦点を当てるのは女の男に対する情愛の表わし方である。ただ表わすだけでいいのなら「愛しています」で事は済むが、しかしこれでは面白くもなんともない。読者はいかなる感興も起こさない。これに変わる代替え表現がほしいところである。以下に該当の言動を引用するが、その中に虚言が交じっており、有効に使われていることに注目したい。なお次の言動の括弧内は文脈設

定である。

- (a) (伊津子が大三郎と夕食をとっていると、節子から電話でどなたと詰められ、「従妹よ」と言ってしまった。小さい嘘言で、伊津子は心が重かった。

・・・・・・小さい嘘言で、伊津子は心が重かった。

どうして咄嗟にあんな変な嘘を言ってしまったのか、自分で自分の心が判らなかった。

- (b) (鳥飼が自分への愛が薄れてきた伊津子に)

「何か、貴女にあったんですか」(と問い詰めると、本当は、大三郎へ愛が傾いたのに、つまりあったのに、伊津子は

「そなものございません」(ときっぱり嘘をつく)・・・・・・

(その後、愛の傾斜が確定したことを伊津子は)

「友の婚約者八代大三郎を自分が恋しているということを、はっきりと知った」(と記している)

「わたしは八代さんが好きだ」(と言明している。したがって、以降、これに背く発言はすべて誠の愛を露呈する虚言ということになる)。

- (c) (鳥飼が伊津子に)

「貴女の心の中には、いま、僕以外の人間が座っていますね」(と言うと)

「いいえ」

伊津子は否定した。

「嘘を言うのはおやめなさい」

- (d) (伊津子は大三郎自身だけでなく、彼の撮った写真も好きである。しかし女特有の気まぐれな反作用心理から好きではないと嘘をつくこともある。伊津子が作品を見回していると、背後から突然大三郎が)
「それ、いいでしょう」(と声をかけてきた)
「あまり好きではありません」
(伊津子の、この拗ねた嫌い宣言が本心でないことは続く次の記述)
大三郎の言葉を耳にすると、伊津子の心はすぐたわいなくほぐれて行きそうだった。(から読み取れる)

- (e) (節子から大三郎宛の電報を伊津子は預かる。文面によると、自分と大三郎のデートが打ち壊しになる。そこで伊津子はその電報を大三郎に渡さないことにする。嘘が引き起こされる)
伊津子は今や完全に悪魔になっていることを感じていた。節子からの電報のことを大三郎に知らせれば、おそらく大三郎は京都行きを中止するだろうと思う。

.....

伊津子は声を出すことができなかった。動悸が烈しく打っている。
(電報を渡さないという恐ろしい嘘の行動の背景にも、自分に対する情愛を独り占めにしたいというしたたかさが読み取れるであろう。)

以上、愛情表現の一端として虚言に走る事例を挙げたが、もちろんこれ以外の言動によっても同等に表わしうる。悲しみ、喜び、怒り、嫉妬などを通して愛の深さを表明しうる。上の事例は「嘘」が主題であるからこれにのみ集中したにすぎない。虚言の背後に情愛の深さを感じ取られたら可としたい。嘘による愛の表明は普遍性があり、英語でも同じような表現が認められよう。これについては別の機会で実証したい。

結 び

新聞の本の広告で「嘘つき男と泣き虫女」という題目を目にした。女が男より涙を流しやすいのはわかるが、男が女より頻繁に嘘をつくというのはどうであろうかと疑問に思った。英語版の *Why Men Lie and Women Cry* を買い求め内容を検討することにした。解答は、嘘をつくことに性差は特にはないが、総じて男の嘘が女に見破られやすいので、つまり女の方に *super-awareness* がより濃厚に備わっている、結果的に嘘の量が多くなるということである。ということは、嘘はウソであることがばれない限りウソではないということであろうか。発話は聞き手に虚言だと判定されない限り真実であるということであろうか。このように認識すると、底辺では嘘の頻度は男女共通でも、表面で違ったものになる。嘘を見破れない男と見破るより高度な感覚を身に付けている女では、自ずから、度合いに差が出ると合点がいったような、いかなかったような気になった。本著の読後感はその程度にとどめて、私自身への整理のため、嘘の概要を著者の論述を軸に捕獲することにした。

Allan & Barbara は *lie* を 4 つのタイプに分け、全容を捕えている (*white, beneficial, malicious, deceptive*) が、私は善玉と悪玉に大別し、該当事例を添えた。虚言は嘘 (言葉) そのものだけでなく、身振りとか行動の面も含めることにしたのでかなり幅の広いものになった。善玉の嘘は実害がなく、社交を円滑にする働きをするので積極的に活用されるべきだと、一方、悪玉の嘘は少なくとも受け手に実害 (不利益、損害) を及ぼすので廃棄されるべきだと主張した。

嘘の言動は、掬い上げるにしる、捨てるにしる、特定化が先行するので、嘘見分けの方法 (*clues to unmasking the liar*) にも詳しく言及したつもりである。

嘘と言えば、言語行為として悪評が高いようであるが、そうでない面もある

ことを付言するため、日本語の小説で嘘が愛の表現としていかに効果的に借用されているのかにも触れた。

参 考 文 献

Allan & Barbara Pease 2002 : Why Men Lie and Women Cry, Orion.

Brown & Levinson 1978 : Politeness, Cambridge.

藤井留美・訳 2003 : 嘘つき男と泣き虫女、主婦の友社。

井上 靖 : 1980 : 夢見る沼、講談社。